

ATOM LIVINTECH IR NEWS

第69期 | 報告書

令和4年7月1日 ▶ 令和5年6月30日

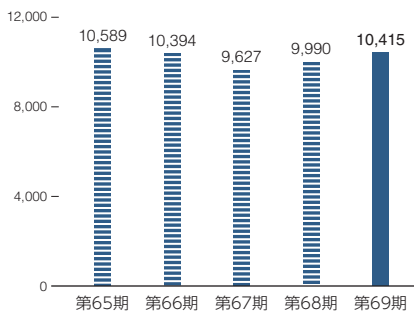
目次	財務ハイライト……………P1	財務諸表……………P6
	INTERVIEW……………P2・P3	株主還元／株式の概要／
	TOPICS「イベント開催・出展」…P4	会社情報……………P7
	特集「未来への一歩」……………P5	シリーズ企画／株主メモ…P8

財務ハイライト

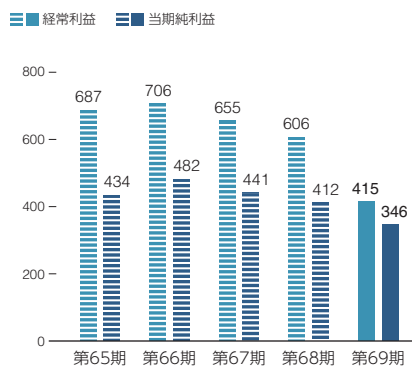
第69期の POINT

第69期の業績につきましては、売上高は104億15百万円(前期比4.3%増)、経常利益は4億15百万円(前期比31.5%減)、当期純利益は3億46百万円(前期比15.8%減)となりました。

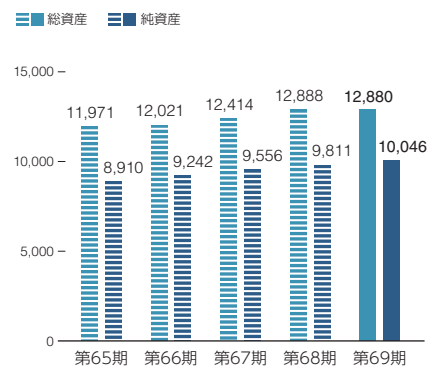
売上高 (百万円)



経常利益／当期純利益 (百万円)



総資産／純資産 (百万円)



主要経営指標

		第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
売上高営業利益率	(%)	6.3	6.6	6.6	5.8	3.6
総資本営業利益率 [ROA]	(%)	5.6	5.7	5.2	4.6	2.9
自己資本利益率 [ROE]	(%)	5.0	5.3	4.7	4.3	3.5
流動比率	(%)	282.3	298.9	298.4	296.4	300.1
固定比率	(%)	49.1	52.3	51.9	49.7	49.2
自己資本比率	(%)	74.4	76.9	77.0	76.1	78.0
1株当たり純資産額	(円)	2,233.4	2,316.5	2,395.3	2,459.2	2,518.1
1株当たり当期純利益	(円)	108.9	121.0	110.6	103.3	86.9
期末株価	(円)	1,405	1,381	1,472	1,450	1,161
株価純資産倍率 [PBR]	(倍)	0.63	0.60	0.61	0.59	0.46

第11次中期経営計画の達成を目指しつつ、 経営環境の変化に即応できる「住空間創造企業」へと 着実に成長してまいります。

第69期の取り組みと業績について

コロナ後の市場を見据えながら
新たな商品展開の推進や
お客様への情報発信を強化するなど、
積極的な事業展開を推進しました。

第69期の経営環境について

第69期の住宅関連市場は、低水準にある住宅ローン金利や住宅ローン減税の導入、省エネ住宅への補助金制度など、政府による各種住宅取得支援政策が下支えしたものの、持家の新設住宅着工戸数は木造住宅の建設費用上昇が主要因となり減少傾向で推移しました。また建設業界における慢性的な人工不足に加え、建設資材・物流コストの高止まりが懸念されるなど、住宅業界を取り巻く環境は厳しい状況が継続しました。一方、新型コロナウイルス感染症の5類移行で社会・経済活動の正常化に向けた動きが加速し、国内景気は緩やかな持ち直しの動きが見られるようになりました。住宅市場におきましても、コロナ禍でニーズが高まった室内環境の向上要求や生活スタイルの意識変化による住環境の見直し需要などは今後も続くと考えており、これらを要因とした市場の活性化に一定の期待が持てる状況となっております。

第69期の戦略別取り組みと業績について

商品戦略につきましては、日々高まるお客様のご要望に即応するために、より現場主義に徹した柔軟で機動力のある商品開発を目指して、「営業設計グループ」を主軸に据え、当社独自の機能を内包するソフトクローズ関連において、メンテ

ナンス性に優れるだけでなく、様々な引戸の納まりに対応が可能な「マルチソフトクローズユニット」にアウトセット下荷重引戸を新たに設定して用途を拡充しました。またリモートワーク空間の構築に最適なSW移動間仕切システム「SW-900」においては、マンションの外干し禁止やコロナ禍での室内干しが注目される中、専用の物干しをオプションとして設定可能にするなど、市場ニーズに対応した関連商品の拡充と市場への定着に注力しました。

市場戦略につきましては、金物卸売業界の流通ルートの整備に取り組むとともに、令和5年4月にはベトナム・ホーチミン市で開催されたベトナム最大級の建築系展示会「VIETBUILD 2023」に初出展し、現地の市場調査とともに当社商品の認知度向上に努め、続く5月には3年半ぶりとなる「2023春の新作発表会・東京展」をアトムCSタワーで開催するなど、コロナ禍による制約が緩和される中、対面形式でのセールスプロモーション活動を展開しました。また6月には各ショールームにおける事前予約制を廃止して、予約なしで自由に見学いただける体制に戻しております。なお当社の情報発信基地であるアトムCSタワーでは、金物のみならず広くインテリアに関わる商品を常設展示し、オンラインでのお問合せにも積極的に対応するなど、お客様との商談機会の創出に取り組んでおります。

情報システム戦略につきましては、当社の経営管理体制を支える「統合型業務ソフトウェア」の継続的なバージョンアップを実施しており、営業・業務・現場の各部門が同システムを最大限に活用することで業務効率と経営効率の一層の向上を図っています。当社の「ものづくり」を紹介するホームページ内の「atom動画ギャラリー」では、機能商品を中心とした製品紹介や設計・施工ガイドなどの動画コンテンツを充実させました。他にもアトムCSタワーの展示商品の写真や動画を閲覧できる「ショールームビュー」の充実を図り、さらにマンション物件での採用比率が高まっているSW移動間仕切システム「SW-900」におけるパーツ選定ツールをホームページで公開するなど、SNSを積極的に活用した販売支援ツールの拡充に努めました。

こうした取り組みの結果、第69期の業績は、売上高104億15百万円(前期比4.3%増)、営業利益3億74百万円(前期比35.2%減)、経常利益4億15百万円(前期比31.5%



減)、当期純利益3億46百万円(前期比15.8%減)となりました。一定の売上を確保できましたのは、経営環境の変化に立ち向かう組織の構築が進展したことに加え、全社員が主体性を持った機動的な行動で戦略別の取り組みを積極的に進めたからと考えております。

中長期的観点からの取り組みについて

発想豊かな人材の育成と新たな需要の創出で 収益源の多角化と変化に即応できる 基盤づくりを進めます。

第11次中期経営計画について

第11次中期経営計画(第68期～第70期)では「伝統を活かし、変革に挑む」をスローガンに掲げ、変化する経営環境に即応できる「住空間創造企業」の構築を進めてきました。これまで当社は「伝統」を活かしながら「変革」に挑むことでファースト精神(他社に先駆ける進取の精神)を連綿と受け継ぎ、その結果、つくる力(市場ニーズに応える企画開発力)、売る力(全方位型営業による販売力)、つなぐ力(提案型営業と展示会などを含むアトムCSタワーでの活動によるお客様とのコミュニケーション力)を三本の柱に、独自の特長的な事業スタイルを築いてまいりました。この強みをより有効に活用していくために、全社的な連携強化と環境整備を進め、責任と自覚を持って積極的に行動できる発想豊かな人材の育成に努めてまいります。

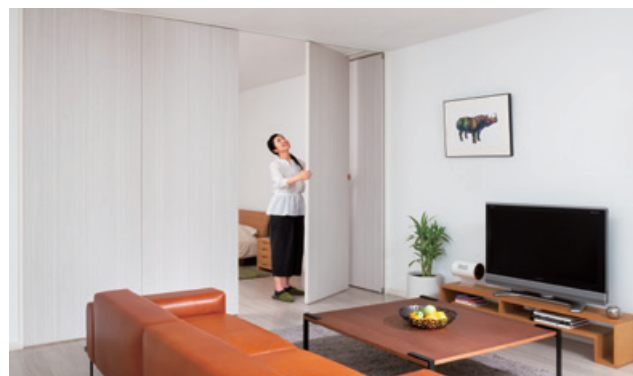
また長期的な住宅需要の減少傾向により、建材・設備事業者の淘汰が進むと捉えております。そうした厳しい市場環境で成長を続けていくには、新築市場から住宅リフォームなどの既築市場への参入や海外市場への進出など、成長性や安定性を見据えた事業内容の構築と、収益源の多角化を進める必要があると考えております。市場ニーズを先取りした「ものづくり」の推進においても今まで以上に積極的に取り組み、付加価値のある新たな商品を作り出し、「非住宅分野」への事業展開を含めて市場に浸透させていく必要があると考えております。

株主の皆様へのメッセージ

株主の皆様とのコミュニケーション深耕と 株主利益の向上に努めてまいります。

株主の皆様とのコミュニケーションについて

当社は、ホームページの「株主・投資家情報サイト」でのタイムリーな情報開示やメディアでの情報発信などをしており、今後も多様なメディアを通じてIR活動を展開し、株主の皆様とのコミュニケーションを深めてまいります。本年6月に発刊された書籍『これから伸びる首都圏のカイシャ2023』(日刊工業新聞社東日本支社発行)に当社の記事が掲載され、家具金物と



建築金物を融合させた内装金物(住まいの金物)という当社独自の事業ドメインを確立する中、ファブレス、ファースト精神、全方位型営業が織り成す競争優位性を持って、市場ニーズを先取りした「ものづくり」に取り組みつつ、一段の飛躍を目指している企業として紹介されました。また当社は本年10月に創業120周年、来年1月にアトムブランド誕生70周年、さらには来年10月に株式会社へと法人改組して70周年を迎えます。この相次ぎ迎える記念すべき節目を機に、創業以来培ってきた歴史と伝統を礎にして将来に向けて新たな一歩を踏み出すという意を込めた企業ロゴ「ATOM LIVINTECH」の刷新を計画し、2024年1月より運用を開始する予定です。

配当政策について

当社は、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題として位置付け、積極的な配当を行うことを基本方針に掲げてまいりました。第11次中期経営計画では年間配当金について、常に着実な株主還元を目指すべく「年間配当金は利益水準のいかに関わらず、最低でも1株当たり30円を維持する」ものとしております。第69期の年間配当金は上記方針と業績を踏まえ、期末配当金を1株当たり17円50銭(増額1円50銭・特別配当1円を含む)とし、中間配当金の1株当たり16円50銭(増額1円50銭を含む)と合わせて、34円とさせていただきます。また創業120周年、アトムブランド誕生70周年という記念すべき事業年度を迎える次期の配当金につきましては、日頃よりの株主の皆様のご支援にお応えするため、普通配当の1株当たり年間30円(中間15円、期末15円)に加えて、5年を節目とした周年記念配当として、1株当たり年間5円(中間2円50銭、期末2円50銭)を予定させていただきたいと考えており、これにより、第11次中期経営計画の最終年度となる第70期の年間配当金の合計は、1株当たり35円を予定しております。株主の皆様におかれましては、引き続き当社の事業に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

高橋 快一郎

リアル会場でのイベントに復活の兆し ～東京・ベトナムの2か所で開催・出展～

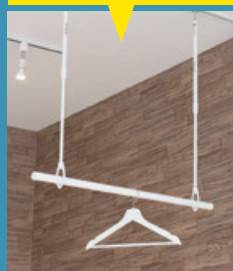
コロナ禍により自粛していたリアルでのイベント。第69期は令和5年4月12日～4月16日にベトナム、令和5年5月18日～5月20日に東京の2か所で開催・出展しました。実際にお客様が商品に触れて動きや操作感が確認できるのは、リアルなイベントならではのことです。ご来場いただいたお客様には、機能性やデザイン性の高さを始めとした、商品への深いご理解をいただける場となりました。今後はリアルでのイベントを徐々に増やし、お客様に実際に商品を手に取って体験してもらええる場を積極的に設けていきます。両会場にてご来場、お立ち寄りいただいた皆様、誠にありがとうございました。

東京

3年半ぶりに個展を開催 「2023 春の新作発表会・東京展」

アトムCSタワーにて3年半ぶりとなる「春の新作発表会」を開催しました。住まいをより快適にする住宅用内装金物を、建具や家具に取り付けた状態で幅広く展示し、ご覧いただきました。

2023 春の新品



SW専用物干し SW-HW-L

リビングを仕切って部屋を分けることができる移動間仕切金具「SWシステム」のレールを利用した簡易型の物干し。マンションの外干し禁止や、コロナ禍での室内干しが注目される中、その市場ニーズに対応した商品のひとつとなっています。



TOKYO

ベトナム・ホーチミン

ベトナム最大級の建築系展示会 「VIETBUILD 2023」に初出展

「見て」「触れて」「体験できる」という展示コンセプトのもと、幅広い商品を展示しました。ベトナムの生活スタイルに合致する「HRシステム」などの引戸金具を中心に、実際に手に取って動作を確認するなど、興味津々の様子に、私たちも確かな手応えを感じることができました。会期中には約900人がブースに訪れ、賑やかな5日間となりました。当社の子会社ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITEDは、日本だけでなく、海外の方々にも商品の魅力を伝える活動に力を入れていきます。



HO CHI MINH

未来への 一歩

アトムリビンテックは令和5年10月に創業120周年、令和6年1月にアトムブランド誕生70周年を迎える。古くからの伝統と創業からの想いを大切にしつつも、時代の変化をいち早くつかみ、変革に挑戦し続けているアトムリビンテックが、今踏み出している未来への一歩とは…。

『これから伸びる首都圏の カイシャ2023』に当社記事掲載

日刊工業新聞社東日本支社から本年6月に出版された『これから伸びる首都圏のカイシャ2023』に「伝統を活かし、変革に挑む住宅用内装金物のトップランナー」として、当社記事が掲載されました。

オリジナルブランドの開発や、時代や環境の変化に応じた商品開発だけでなく、企業価値向上のための様々な取り組みも今後の期待材料として評価をいただきました。

今後も伝統と変革を軸に、ステークホルダーの皆様にも愛される企業であり続けることを目指します。



『これから伸びる首都圏のカイシャ2023』
(日刊工業新聞社東日本支社発行)からの転載

アトム
リビンテック
注目の
ポイント

POINT

1

ファブレス、ファースト精神、
全方位的営業が織り成す競争優位性

POINT

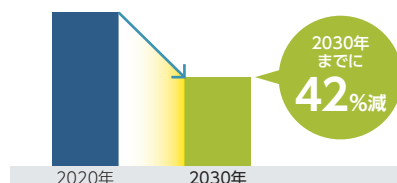
2

現場の声を吸い上げ、
いち早く商品開発につなげるモノづくり力

令和5年1月 「SBTi認定」取得

当社は令和5年1月、「SBT (Science Based Targets) イニシアチブ」の認定を取得しました。

認定された温室効果ガス削減目標



SBTとは

「Science Based Targets」の略称で、温室効果ガス排出削減目標のことです。世界の気温上昇を産業革命前より1.5℃に抑えること(1.5℃水準:少なくとも年4.2%削減)を目標としています。

▶ 今後も事業活動における温室効果ガス排出削減に向けた取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

アトムリビンテックのこれから

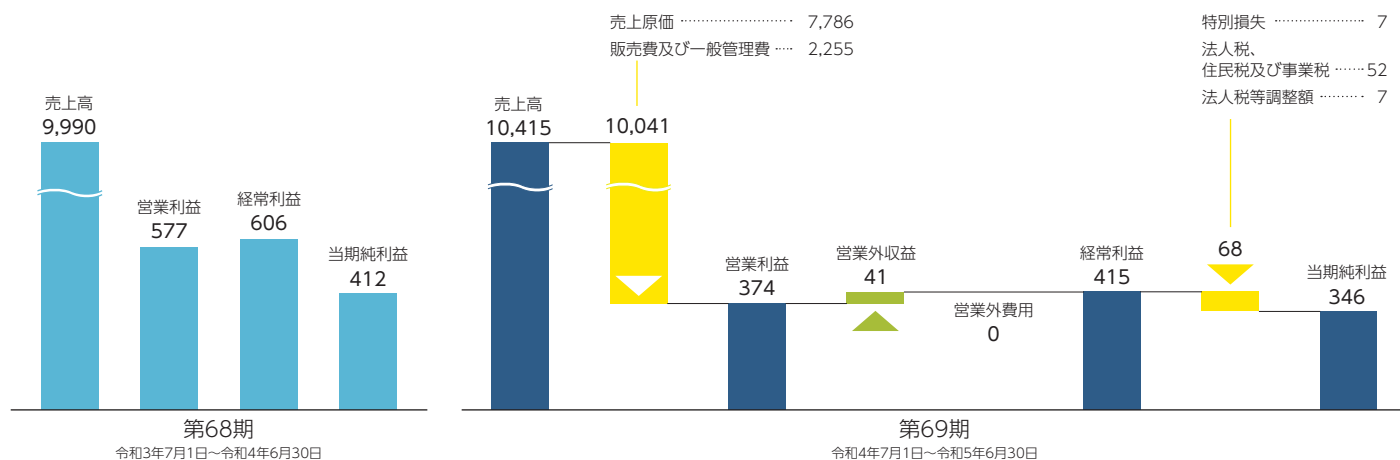
ブランドロゴ刷新計画中

本年10月に創業120周年、来年1月にアトムブランド誕生70周年、10月に株式会社へと法人改組して70周年を迎えます。創業以来培ってきた歴史と伝統を礎にして将来に向けて新たな一歩を踏み出すという意を込めた企業ロゴ「ATOM LIVINTECH」の刷新を計画し、令和6年1月より運用を開始する予定です。

SDGsゴールターゲットをホームページに掲載

本年7月にSDGsゴールターゲットを掲載しました。「創意・誠実・進取」という哲学と理念を背景に、柔軟な発想と「繊細なものづくりの精神」を反映させた商品開発力により、内装金物(住まいの金物)の進化と発展に寄与するとともに、次世代を担う便利で使いやすい製品を世に送り出し、住生活を通してSDGsに貢献します。

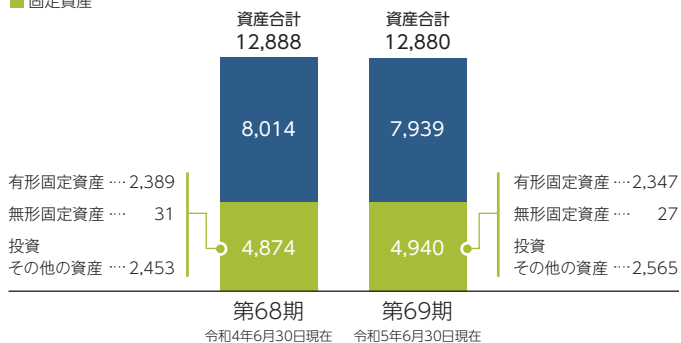
損益計算書の概要 (単位：百万円)



貸借対照表の概要 (単位：百万円)

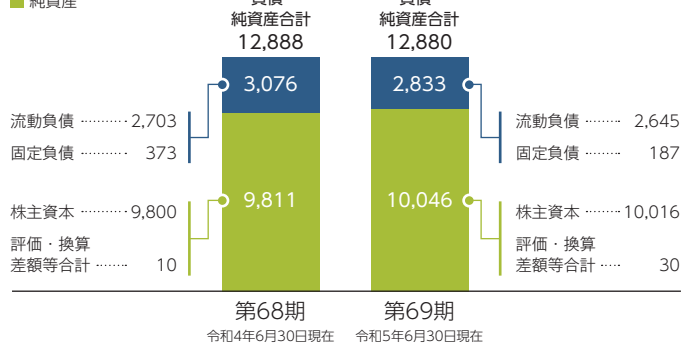
資産の部

■ 流動資産
■ 固定資産

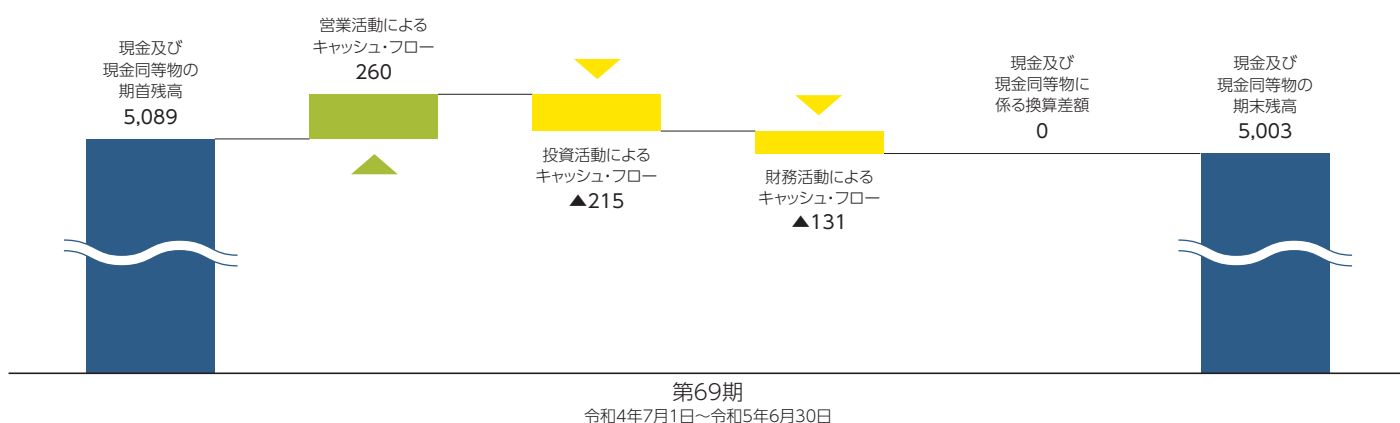


負債・純資産の部

■ 負債
■ 純資産



キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)

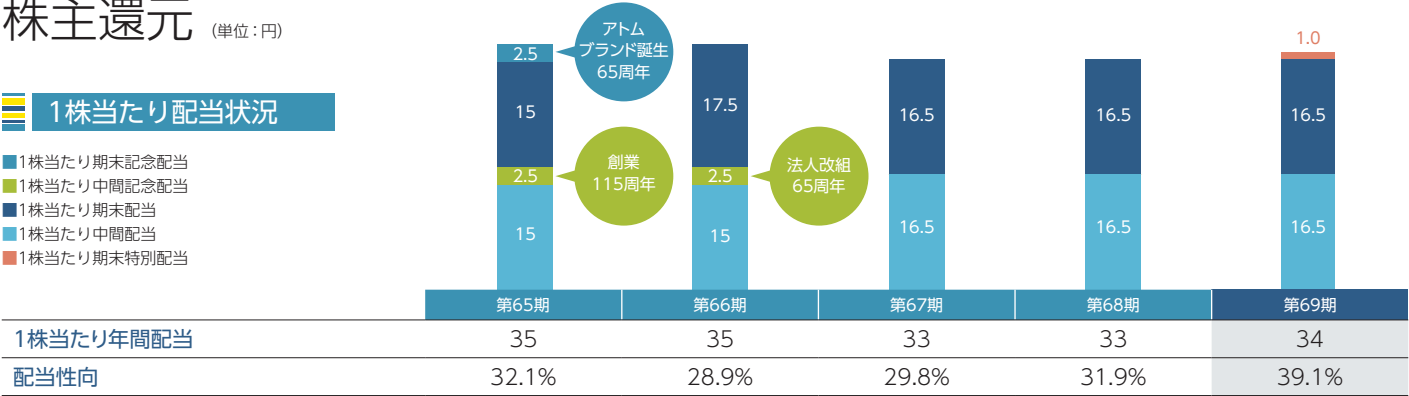


株主還元

(単位:円)

1株当たり配当状況

- 1株当たり期末記念配当
- 1株当たり中間記念配当
- 1株当たり期末配当
- 1株当たり中間配当
- 1株当たり期末特別配当



株式の概要

株式状況

令和5年6月30日現在

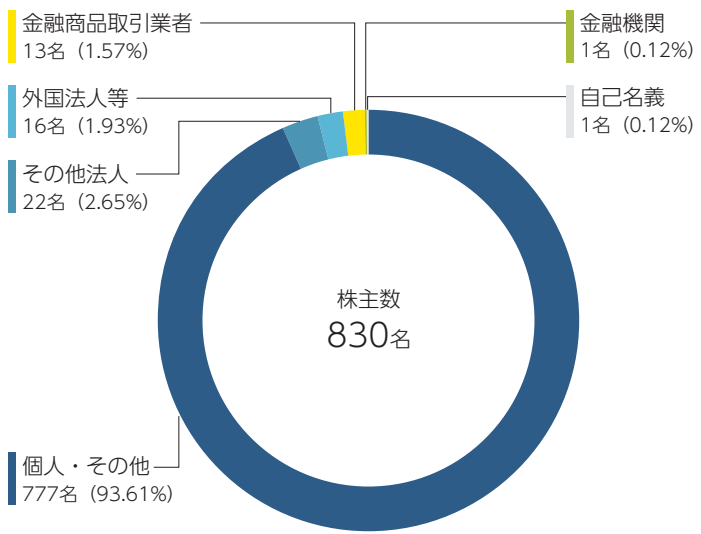
発行可能株式総数 15,420,000株
発行済株式の総数 4,105,000株
株主数 830名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
高橋不動産株式会社	885,440	21.56
高橋 快一郎	500,000	12.18
アトムリビンテック取引先持株会	436,500	10.63
高橋 良一	290,000	7.06
アトムリビンテック従業員持株会	266,260	6.48
高橋 壽子	157,000	3.82
アトムリビンテック株式会社	115,200	2.80
大塚 李代	83,800	2.04
磯川産業株式会社	81,500	1.98
岡崎 衛	80,400	1.95

株主の所有者別分布状況

令和5年6月30日現在



会社情報

会社概要

令和5年6月30日現在

商号 アトムリビンテック株式会社
創業 1903年（明治36年）
設立 1954年（昭和29年）10月
事業内容 家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、住まいの金物全般の企画・開発・販売
主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社三井住友銀行
従業員数 126名（嘱託6名・パート6名含まず）

役員

令和5年9月26日現在

代表取締役社長	高橋 快一郎	社外取締役	小瀧 繁幸
常務取締役	鈴木 英光	常勤監査役	金子 豊
取締役	池井 正彦	社外監査役	高島 良樹
取締役	山口 俊	社外監査役	山下 剛

事業所一覧

令和5年6月30日現在

本社
〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号
TEL 03-3876-0600

アトムC/Dセンター（商品本部）
〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎4丁目15番19号
TEL 048-922-5551

札幌営業所
〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東3丁目28番32号井門札幌東ビル1F
TEL 011-748-3113

前橋営業所
〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号
TEL 027-223-2651

広島営業所・C/Dセンター
〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8番地6
TEL 082-291-4235

アトムCSタワー
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目31番5号
アーバンスタイル事業部
シヨップ&ショールーム亜吐夢金物館
TEL 03-3437-3673
TEL 03-3437-3440

アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5
TEL 06-6821-7281

海外拠点

令和5年6月30日現在

子会社：ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED
ベトナム社会主義共和国

子会社：上海阿童木建材商貿有限公司
中華人民共和国

アトム
CSタワー
最前線

SPECIAL ISSUE



ギャラリーショップ

KANAGU

～職人技のある暮らしを、スローショッピングで～

使ってみるとなんだかうれしい、こちいい。
大切な誰かに贈りたくなる、ちょっといいモノ。
デザイン、素材感、仕上げの隅々まで職人のこだわりが詰まった逸品をセレクトしました。
毎日の暮らしに新しい風を運んでくれるような職人がつむぐ「モノ語り」を読みながらあなたのお気に入り、ゆっくり、じっくり見つけてください。



オンラインショップKANAGU STOREにて
法人用ギフトページ開設

オンラインストアは
こちら



<https://www.atomlt.com/cstower/category/shop>

ご縁を結ぶ、心づかいが伝わる、 こだわりの逸品をお探しの方に

大切な方への贈答品や、創立記念・周年記念、社内インセンティブ、セールスプロモーション、キャンペーン、景品など様々なシーンで特別感のあるギフトをご提案しております。

心づかいが 伝わる



オリジナルの刻印やレーザー彫刻、熨斗やメッセージカードなど想いや心づかいをお届けするためのご相談も承ります。

ご縁を 結ぶ



加賀水引の職人による【あわじ結び】を使用。両端を引っ張るとさらに固く結ばれることから「ご縁を結ぶ」という意味がある当店オリジナルの水引です。

こだわりの 逸品



デザイン、素材感、仕上げの隅々まで職人のこだわりが詰まった逸品をセレクトしました。

見て、触って 確認できる安心感

上記の商品は、実店舗のギャラリーショップKANAGUで、実際に、見て、触ってご確認いただけるだけでなく、商品についても詳しくご説明いたします。

店舗についてはこちら

<https://kanagu-store.com/pages/kanagu>



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主 確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)	〒137-0801 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

電子公告(当社のホームページに掲載いたします。)
<https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

住まいの飾り職人

ATOM
LIVINTECH

アトムリビングテック株式会社

〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4

TEL 03(3876)0600(大代表)

ホームページ <https://www.atomlt.com/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。